

自治・文化・経済部会資料

施策4-3-1 人材を活かすしくみづくり

経済労働局
令和4年6月

資料をご覧ください。上での注意事項

掲載している数値等は、6月2日（令和4年度川崎市政策評価審査委員会第3部会の開催日）時点のものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策の概要

概要 背景 取組 成果 まとめ

基本政策（1層）

活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策（2層）

生き生きと働き続けられる環境をつくる

施策（3層）

人材を活かすしくみづくり

直接目標

市内での雇用を促進するとともに、市内の優れた技能を次世代に継承する

主な事務事業

雇用労働対策・就業支援事業

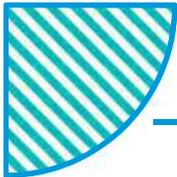
技能奨励事業

生活文化会館の管理運営事業

実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標①		就業支援事業による就職決定者数		
算出方法	<p>「キャリアサポートかわさき」における年間就職決定者数 ※第1期実施計画では、「キャリアサポートかわさき」と「コネクションズかわさき」における就職決定者数を成果指標として示していたが、「コネクションズかわさき」は日本全体の経済情勢等の対外的な要因の影響を強く受けることから、第2期実施計画では指標管理を施策の取組の成果がより反映される「キャリアサポートかわさき」における就職決定者のみに見直している。</p>			
指標の考え方	<p>雇用のミスマッチの課題に対応するために、総合的な相談窓口として、「キャリアサポートかわさき」を中心に就業支援事業を実施していることから、当事業における就職決定者数の推移を見ることで、市内の雇用状況の向上のための取組の成果を測ることができる。</p>			
指標の目標値	<p>第1期策定時 465人(H26)</p>	—	<p>第2期目標 490人以上(R3)</p>	<p>第3期目標 495人以上(R7)</p>
目標値の考え方	<p>将来的な雇用情勢や国事業の方向性が不透明ではあるものの、現状を上回る就職決定者数を維持していくことを目標とする。 ※成果指標の算出方法の見直しに伴い、目標値を変更 ・第2期:710→490人・第3期:720→495人</p>			



実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

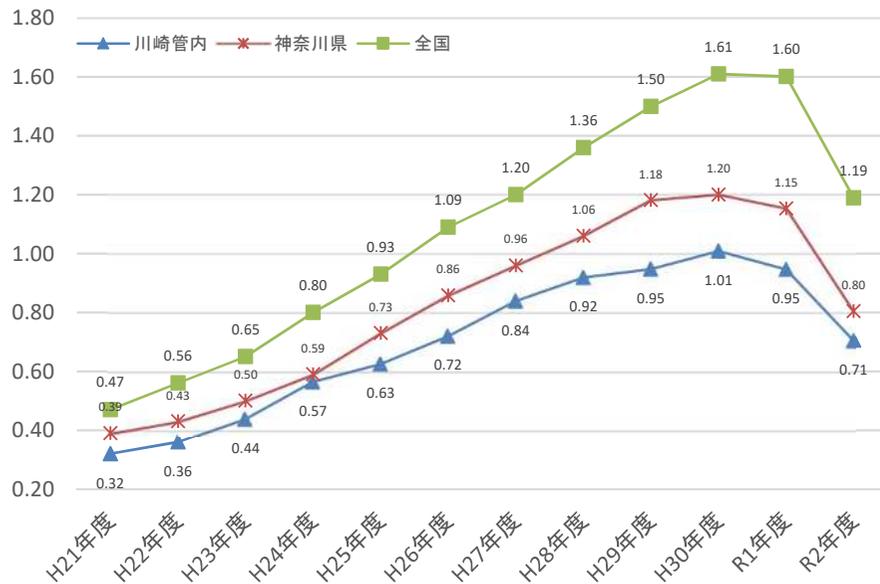
成果指標②		かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数		
算出方法	区民祭等のイベントにおけるかわさきマイスター出展件数、小・中学校等において出前授業を行った件数、ものづくりに関する市民向け講習会の開催数			
指標の考え方	市内最高峰の匠として認定された「かわさきマイスター」が、多くの市民に対して「ものづくり」に関わる極めて優れた技術や卓越した技能を披露できるイベントへの出展件数、熟練した技能の活用・継承、後継者育成の機会として小・中学校等における出前授業を行った件数や市民向け講習会等の開催数により、マイスター制度の取組の成果を測ることができる。			
指標の目標値	第2期実施計画から新たに設定	—	第2期目標 102件以上(R3)	第3期目標 106件以上(R7)
目標値の考え方	依頼先の増減により件数の変動があり不透明なものではあるが、広報手段の見直し等による市民への周知の徹底などにより毎年少なくとも1件以上増加することを目標とする。			



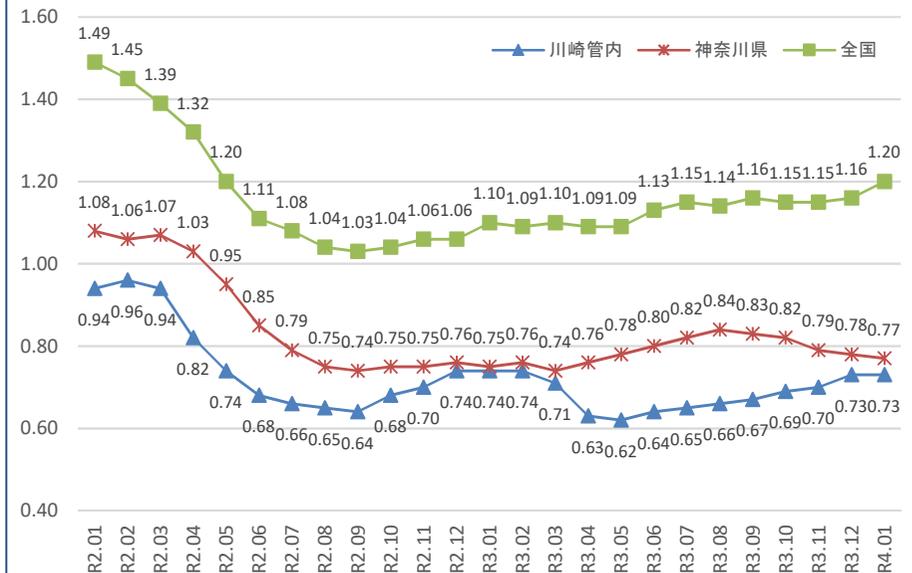
雇用の状況

- 本市の有効求人倍率の推移をみると、平成30(2018)年度までは上昇傾向にありましたが、令和元(2019)年度には低下し、0.95倍と1倍を割り込んだのち、令和2(2020)年度に新型コロナウイルス感染症の影響により大きく低下しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、有効求人倍率は、全国、神奈川県、本市とも大きく落ち込み、その後低調に推移しており、感染拡大前の水準に戻っていない状況にあります。

有効求人倍率の推移(年度平均)



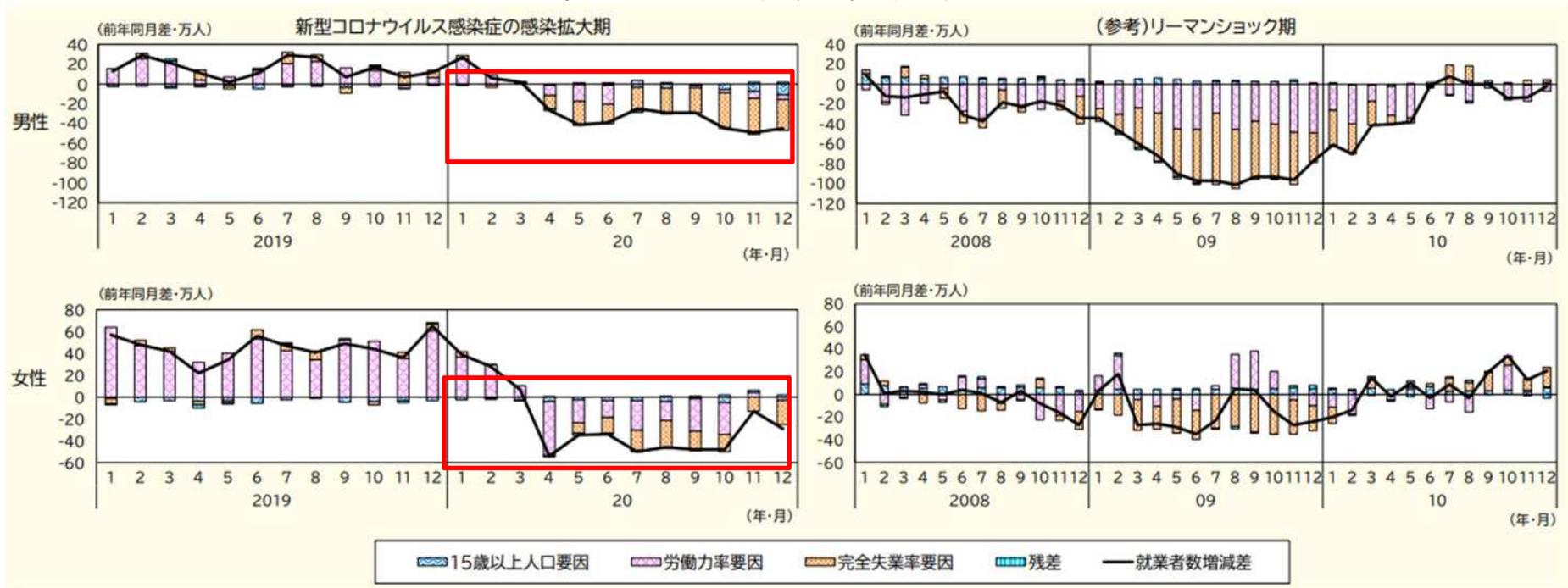
有効求人倍率の推移(月別)



雇用の状況

- 雇用のミスマッチや若年無業者、女性、就職氷河期世代等の活用などは従前から課題となっており、更に、コロナ禍で変化する雇用情勢や社会的ニーズに合わせた取組の推進が求められています。
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大期の就業者数の変動をみると、リーマンショック期に比べて、男性は減少幅が少なく、女性は減少幅がやや大きくなっています。

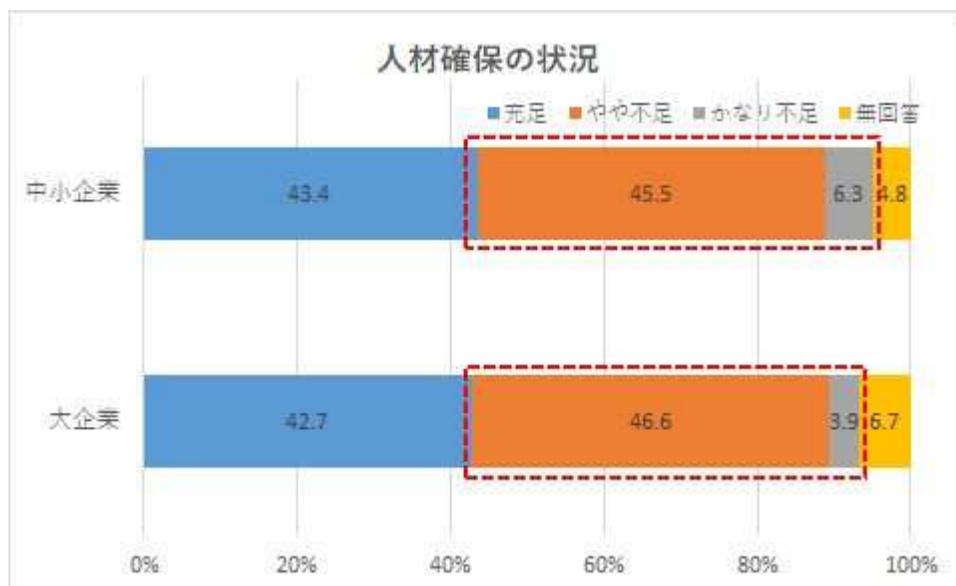
男女別の就業者数の変動の要因分析



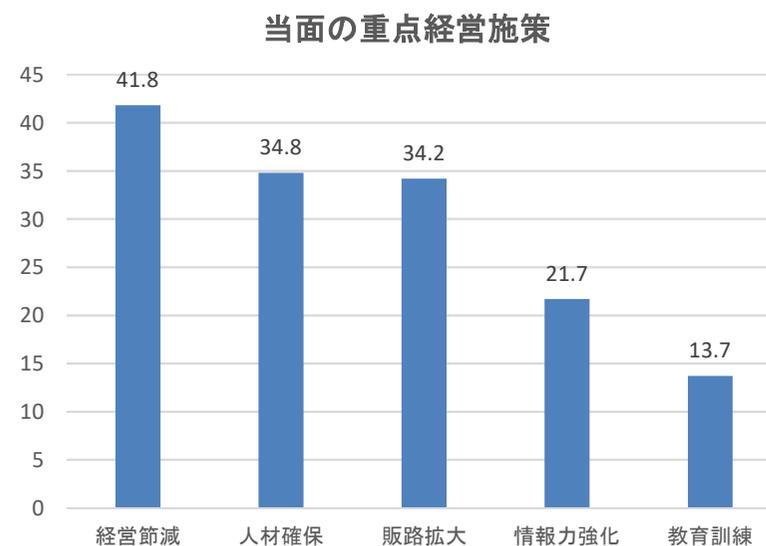
令和3年8月厚生労働省「労働経済の分析」

市内企業の人材確保の状況

- 市内中小企業等の人手不足は長年の課題となっており、市内企業の調査によると、人材確保の状況として「人材が不足している」と回答した中小企業の割合は多く、「やや不足」、「かなり不足」を合わせると51.8%となり、半数以上の企業が人材不足の状況にあります。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、求職者の就職・雇用環境が悪化する一方で、当面の重点経営施策として「人材確保」を挙げる企業も多くなっています。



令和2年度「川崎市労働白書」



川崎信用金庫「中小企業動向調査(2021.10-12月期)」

キャリアサポートかわさきでの就業支援

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 本市就業支援室「キャリアサポートかわさき」では、専門相談員による個別相談や職業紹介、利用者の希望に合わせた求人開拓、企業交流会、就職準備セミナーの開催等により、求職者の個々のニーズ等に応じた丁寧な就業支援を実施しました。



窓口相談

オンライン相談



企業交流会

コネクションズかわさきでの職業的自立支援

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 「コネクションズかわさき(かわさき若者サポートステーション)」では、個別カウンセリングや就労体験、定着支援、学校連携事業、保護者セミナー等により、若年無業者の就業意識の向上や職業的自立に向けた支援を実施しました。

かわさき地域若者サポートステーション

あなたの「働く」を   一緒に考えます!

対象 15歳～49歳の方と
その保護者

利用料 無料

働くことが不安…

自分に合った仕事
がわからない

就活がうまくいかない

何から始めたら
良いのかわからない

一人で悩むより
相談して
みませんか?

各種セミナー 

就職に役立つ様々なセミナーを実施しています。

- ビジスマナー講座
- コミュニケーションセミナー
- ものづくりセミナー
- 職業適性チェックセミナー ほか多数実施

しごと体験 

1日から最長で3か月、企業で実際の仕事を体験し、自分に合った仕事を見つけていきます。

個別相談

不安や悩みにあわせて、各種相談を受け付けています。

- キャリア相談 
- こころの相談 

電話やメールでの相談も受け付けています。 



 **サポステ**
地域若者サポートステーション

求職者の特性等に合わせた就業支援

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 高校や大学等の新卒予定者等に対して、学校や経済団体、ハローワーク等の関係機関と連携しながら、市内中小企業等との就業マッチングイベントや合同企業就職説明会等を実施しました。
- 「キャリアサポートかわさき」での女性カウンセラーの配置や託児付き女性相談窓口の設置、対象を女性に特化したマッチングイベントの開催等により、女性の就業支援を実施しました。
- 就職氷河期世代に対し、正規雇用に向けた短期集中セミナーの開催や県合同就職面接会への誘導、キャリアサポートかわさきでの相談窓口の設置等により、正規雇用を中心とした就業支援を実施しました。



合同企業就職説明会



女性相談窓口



短期集中セミナー

多様な人材育成・確保支援

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 市内中小企業の人手不足や雇用のミスマッチ解消を図るため、産業界や学校等と連携し、若者、女性、高齢者及び就職氷河期世代など多様な求職者に魅力を発信するとともにマッチング機会を創出するなど、人材確保に向けた支援を実施しました。



マッチングイベント

川崎市 参加企業募集のお知らせ!

学生等・若者、再就職希望の女性、ミドル・シニア人材など多様な人材を採用・活用するためのセミナー&マッチングイベントを開催します!

10月13日 @ 川崎市産業振興センター

10月22日 @ 川崎市産業振興センター

11月26日 @ 川崎市産業振興センター

川崎市 学生と川崎市内企業とのインターンシップ合同マッチング会

7月17日 @ 川崎市産業振興センター

川崎市内企業と社会人とのオンライン交流会

2/24 @ 川崎市産業振興センター

3/7 @ 川崎市産業振興センター

川崎市内の就職支援イベント

川崎市内企業と社会人とのオンライン交流会

2/24 @ 川崎市産業振興センター

3/7 @ 川崎市産業振興センター

川崎市内の精進採用企業と出会う就職支援イベント

3/7 @ 川崎市産業振興センター

川崎市 ミドル・シニア人材と川崎市内企業とのマッチング交流会

11月26日 @ 川崎市産業振興センター



ものづくり産業における人材の減少

概要 背景 取組 成果 まとめ

川崎市にマイスター制度が発足した平成9(1997)年頃の状況は、円高進行により多くの大手製造業の海外移転、低価格の輸入製品増加などにより、中小製造業は事業の縮小や廃業の増加などの問題を抱えていました。

また、昭和60年代のバブル景気以降、製造業が「3K」という言葉で表現され、若年層の就業者数が減少したことから後継者の不足が課題となり、さらに、製造業全体の省力化・機械化・リストラ等により、熟練技能者が減少し、優れた技能の継承が困難になりつつありました。

我が国ではすでに人口減少が現実のものとなっており、少子・高齢化とともに、若年層の減少が進行しています。

ものづくり産業の現状をみると、GDPに占める製造業割合は、約2割を占めており、依然として我が国の基幹産業である一方で、国内の従業者数は減少傾向にあり、平成9(1997)年から平成29(2017)年の20年間で20%以上減少しています。

ものづくり産業における若年就業者(34歳以下)の就業者数及び比率も減少傾向にあります。

新規学卒者の製造業新規就職者数は、総数としては、平成22(2010)年を底に持ち直していますが、従業員数が300人未満の中小企業については、長期的に減少傾向にあります。

(参考)
経済産業省 厚生労働省 文部科学省 「2019年版ものづくり白書」

●技能の継承について

・令和元年度に厚生労働省が全国で実施した調査によると、「技能継承に問題がある」とする事業所は39.0%となっています。

産業別に見ると、「建設業」(63.5%)が最も多く、以下、「製造業」(61.9%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(50.6%)では、5割以上の事業所が技能継承に問題があるとしています。



(出典) 厚生労働省 令和元年度「能力開発基本調査」

マイスター制度の創設

市内最高峰の匠「かわさきマイスター」

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 技能職者の後継者不足は深刻化していることから、市民生活や日本の産業を支える技術・技能に対する市民理解の更なる醸成に向けたものづくり産業の魅力発信などの技能振興の継続的な取組が求められています。

かわさきマイスターシンボルマーク

ものづくりの原点である手をモチーフに、その発展を花の開花、鳥の羽ばたきの形で表現しています。



技術・技能職者を取り巻く環境が厳しくなっている中、川崎市内の技能職団体で構成された川崎市技能職団体連絡協議会などは、マイスター制度の研究を始め、代表者を平成6(1994)年にドイツに派遣し本場の制度を学び、平成8(1996)年7月には、同協議会からの委員2名を含む「川崎市マイスター制度検討委員会」が発足。翌平成9(1997)年に「かわさきマイスター」制度が創設されました。



マスター有志「ものづくりの匠プロジェクト」

による時計の寄贈 (平成25(2013)年)

「ものづくり都市」として発展してきた川崎が誇る、極めて優れた技術・技能職者の方々を市内最高峰の匠「かわさきマイスター」として認定し、素晴らしい技能を継承・振興・発展させる制度として、これまでに工業や衣・食・住など生活にかかわる76職種114名の方々を認定しています(令和4年4月末現在)。



匠プロジェクト寄贈 観覧車 (平成27(2015)年)

かわさきマイスターのイベント出展等の活動

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 技能奨励・後継者育成・人材育成に向けた活動を行っています。

技能奨励の活動として、毎年5月に武蔵溝ノ口駅南北自由通路で開催しているマイスター最大の祭典「かわさきマイスターまつり」をはじめ、技能職者の拠点である「てくのかわさき(川崎市生活文化会館)」において催される「技能フェスティバル」、「てくのまつり」、また「かわさき市民まつり」や「区民まつり」、「かながわしごと・技能体験フェスタ」など本市内外の様々なイベントにて熟練の技の実演・体験・製品展示を行っています。



マイスターまつり



市民祭り

後継者育成・人材育成の取り組みとしては、小・中・高校、職業技術校などでの講演会・実演・実技指導や市民向けの体験教室などを行い、技術・技能の継承・啓発に取り組んでいます。



多摩区民祭



マイスター学校派遣

技能奨励事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

技術・技能職者への市民の理解が深まり、技能を尊重する社会の形成と、後継者の育成が図られるようにします。

- 中学校における技能職体験の実施
(実施校数 H30:5校、R1:5校、R2:3校、R3:2校)



後継者育成事業「技能職者に学ぶ」

- 技能フェスティバルの開催
(来場者数 H30:3,800人、R1:3,800人、R2、R3:中止)



てくのかわさき技能フェスティバル

- かわさきマイスター認定者
(H30:5人、R1:4人、R2:4人、R3:5人)



令和3年度 認定者発表 記者会見

- マーケティング支援における研修会等の開催
(研修会等の開催回数 H30:2回、R1:2回、R2:1回、R3:中止)
- マイスターによるイベント出展、学校派遣、講習会等の開催
(活動回数 H30:100件、R1:102件、R2:38件、R3:62件)

令和元年度まではおおむね目標どりの実績となっていました。令和2、3年度については新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントや学校派遣等、多くの事業が中止となりました。

技能振興・継承の取組は、広く市民や学生・生徒、子どもたちに、見て、触れて、体験してもらうことが重要であり、技能講習や後継者育成事業においても、手を取りながら直接指導を行うことが不可欠であるため多くの取組が中止を余儀なくされました。

今後は、新型コロナウイルス感染症の動向や市の対応方針等を踏まえ、開催の可否、時期や実施手法等を検討します。

生活文化会館の管理運営事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 生活文化会館での活動を通じて、技能職に対する市民理解の醸成や技能職者相互の交流、技能振興及び技能水準の向上を図りました。

●生活文化会館の管理運営

(全貸室の平均稼働率 H30:62.7%、R1:62.5%、R2:42.8%、R3:52.5%)

	第2期 策定時 (H28)	H30	R1	R2	R3
目標		63.0 %	64.0 %	65.0 %	65.0 %
実績	58.7 %	62.7 %	62.5% ※	42.8 % ※	52.5 % ※

※ 令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響が生じる1月までは目標を上回る実績で推移しましたが、2月(前年比7.1ポイント減)、3月(同21.0ポイント減)は大幅な落ち込みとなりました。

令和2、3年度については、施設の休館、利用人数及び利用時間帯の制限を行ったこと、またこれらの制限を設けていない期間についても、種々の市民活動の自粛により利用が大幅に減少しました。

川崎市生活文化会館
愛称「てくのかわさき」



技能実習室 会議室 研修室の運営



講座の実施・「てくのまつり」の開催

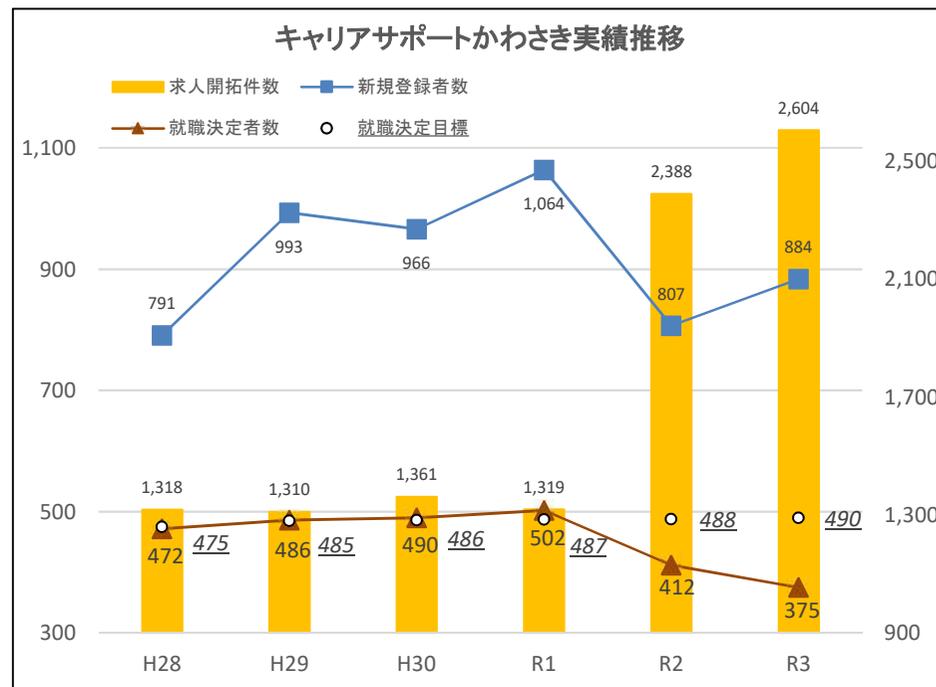


成果指標①の達成状況(目標未達成)

就業支援事業による年間就職決定者数

- 就業支援事業による「就職決定者数」は、令和元年度までは、おおむね目標どおりの実績となっていたものの、令和2・3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化や直接的な周知機会の減少等による広報活動の停滞、求職者及び求人企業の活動自粛等により目標を大きく下回っています。

	第1期策定時(H28)	H30	R1	R2	R3
目標		486人	487人	488人	490人
実績	472人	490人	502人	412人	375人



成果指標①の成果分析

就労支援事業による年間就職決定者数

- 就労支援事業による就職決定者数は、ハローワークとの連携による広報の実施等により、キャリアサポートかわさきの新規登録につなげ、キャリアサポートかわさきにおいて登録者のニーズ等に応じたきめ細やかな就業支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大前までは順調に推移し、令和元年度は目標を上回る年間500名超の就職決定者数となりました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、有効求人倍率の低下など雇用情勢が悪化したこと、最大の認知経路であったハローワークの雇用保険受給者説明会での直接的な広報が実施不可となったこと、求職者・求人企業の活動自粛がみられたこと等により、「キャリアサポートかわさき」の新規登録者や就職決定者数が落ち込み、令和2、3年度は目標未達成となりました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により就職決定者数は落ち込んだものの、令和2年度の求人開拓員増員により、求人開拓件数は増加しています。

成果指標②の達成状況(目標未達成)

かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数

- かわさきマイスターが優れた技術を披露するイベント出展、ものづくりに関する市民向け講習会の開催及びメディア出演等の回数は、新型コロナウイルス感染症の影響による活動機会の減少により目標を下回りました。

平成30～令和3年度 実績

	第2期 策定時 (H28)	H30	R1	R2	R3
目標		99回	100回	101回	102回
実績	97回	100回	102回	38回	62回

- 小学校・中学校での実演や講演、高校や職業技術校での実技指導や講義
(技能の継承、後継者育成 H30:42回 R1:39回 R2:8回 R3:15回)
- かわさきマイスターまつりの開催、市民祭り・各区民祭等のイベント出展やメディア出演
(技術・技能への関心向上 H30:32回 R1:36回 R2:22回 R3:31回)
- 市民向け講習会、研修会
(技能の継承、技術・技能への関心向上 H30:26回 R1:27回 R2:8回 R3:16回)

成果指標②の成果分析

かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数

- 令和元年度まではおおむね目標どおりの実績となっていましたが、令和2、3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により学校派遣、イベントへの出展や市民向け講座の大半が中止となったため目標を大きく下回りました。
- 今後は感染防止のための対策を実施しながら講座等の活動の充実や広報の強化を進めるとともに、市民理解の向上に向けた情報発信手法としてインターネットや映像コンテンツ、オンラインを活用した体験や実習を取り入れるなど、アフターコロナにおける生活様式の変化に対応した新たな活動の提案や新規出展の開拓を行っていく必要があります。

成果指標②の成果分析

その他成果(数値で把握できる補足指標)

かわさきマイスター学校派遣件数

- ものづくり体験や講話を行うために、かわさきマイスターを学校へ派遣した件数
 - ・市内小学校・中学校での職業体験・講話、訪問インタビュー、まちたんけん(社会科見学)の受入
 - ・高校の夏休みインターンシップ受入
 - ・職業技術校での講義

	H30	R1	R2	R3
目標	42回	39回	8回	15回

かわさきマイスターイベント出展件数

- かわさきマイスターが優れた技術を披露するイベント出展、ものづくりに関する市民向け講習会の開催及びメディア出演等の件数
 - ・「かわさきマイスターまつり」「マイスター匠展」の開催
 - ・「技能フェスティバル」、「てくのまつり」、「市民祭り」、「区民祭」、「かながわしごと・技能体験フェスタ」出展
 - ・生活文化会館(てくのかわさき)での市民向け講習会
 - ・テレビ、ラジオ等メディア出演 等

	H30	R1	R2	R3
目標	58回	63回	30回	47回

その他成果(定性的な成果)

成果指標① 就業支援事業による就職決定者数

- 「キャリアサポートかわさき」においては、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化等から就職決定者数は落ち込みましたが、令和2年度から求人開拓員を3名増員し、求人開拓件数を増加させるとともに、令和3年度からオンライン相談を開設し利便性を向上させるほか、特に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている就職氷河期世代や女性等の離職者等に対して、集中セミナーや特化型のマッチングイベントを開催するなどの支援を行うことで就業に一定の効果があったものと考えます。

成果指標② かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数

- 「かわさきマイスター」事業においては、学校派遣だけではなく、市民まつり等市民向けイベントへの参加や市民対象の講座などが好評であるほか、テレビをはじめメディアに取り上げられる機会が多いことから、ものづくりの魅力発信等技能振興の取組に一定の効果があったものと考えます。

施策の達成状況

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / **まとめ**

施策の達成状況 C 進捗が遅れた(1期策定時を下回るものが多くあった)

理由

- ① 「雇用労働対策・就業支援事業」の「就業支援事業による就職決定者数」は、ハローワークとの連携による広報実施や求職者ニーズ等に応じたきめ細やかな就業支援により、令和元年度までは目標を上回っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化や、最大の認知経路であったハローワークの雇用保険受給者説明会での直接的な広報が実施不可となったこと、求職者・求人企業の活動自粛等により、令和2、3年度は目標未達成となりました。また、コネクションズかわさきが行う職場体験事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染防止の観点から受け入れ先企業が減少したこと等の理由から、実施数が減少しました。

【施策の達成状況区分】

- A 順調に推移した(目標を達成した)、B 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)
C 進捗が遅れた(1期策定時を下回るものが多くあった)、D 進捗は大幅に遅れた(1期策定時を大幅に下回った)

施策の達成状況

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / **まとめ**

理由

- ② 「技能奨励事業」の「かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数」については、中学校での技能職体験の実施、かわさきマイスター制度を通じた技能奨励の取組など、ほぼ目標どおり進捗し、技能フェスティバル参加人数については、目標を上回っていましたが、令和2、3年度について新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントや講座、学校派遣等が中止となったため目標を下回りました。
- ③ 「生活文化会館の管理運営事業」については、継続的に稼働率の実績を伸ばし、平成30年度には目標比99.2%とほぼ目標通り、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響が生じる1月までは目標を上回る実績で推移しました。令和2、3年度については、施設の休館、利用人数及び利用時間帯の制限を行ったこと、またこれらの制限を設けていない期間についても、種々の市民活動の自粛により利用が大幅に減少しました。

【施策の達成状況区分】

- A 順調に推移した(目標を達成した)、B 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)
- C 進捗が遅れた(1期策定時を下回るものが多くあった)、D 進捗は大幅に遅れた(1期策定時を大幅に下回った)

施策の今後の方向性

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

今後の方向性

Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

理由

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により雇用情勢が悪化したことに加え、就業支援及び人材確保支援については、雇用のミスマッチ、若年無業者、女性労働力の活用、中小企業等の人材不足等の課題への対応が必要なため、雇用情勢や雇用課題に応じて、事業展開や実施手法等について工夫・改善等を図りながら、ハローワークや経済団体、学校等の関係機関との連携を強化し、求職者及び求人企業への総合的な支援に取り組んでいきます。また、オンラインの取組として、キャリアサポートかわさきにおいては、令和3年3月からwebex等を用いたオンライン相談を継続して実施し、コロナ禍においても就労支援の質を維持し、利用者の就労支援を行ってまいります。

【今後の方向性区分】

- I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)
Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)

施策の今後の方向性

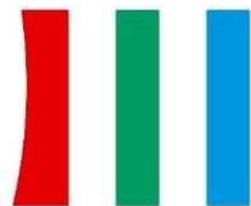
概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

理由

- ② 技能奨励については、マイスターによるイベント出展、学校派遣、講習会の開催や技能フェスティバルの開催等を通じて高い関心を集めています。技能振興・継承の取組は、広く市民や学生・生徒、子供たちに、見て、触れて、体験してもらうことが重要であるため、引続き新型コロナウイルス感染症の感染防止のための対策を実施しながら取組を継続するほか、市民理解の向上に向けた情報発信手法としてインターネットや映像コンテンツ、オンラインを活用した体験や実習を取り入れるなど、アフターコロナの生活様式の変化に対応した新たな活動についても検討していきます。
- ③ 生活文化会館の稼働率については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2、3年度を除き目標に近い水準を保っています。今後も新型コロナウイルス感染症の感染防止のための対策を実施しながら講座の充実やサービスの向上、広報の強化などを進めるとともに、オンライン映像の収録や配信を行う用途での貸室利用を想定した貸出機材(撮影・音響・照明)導入の検討等、アフターコロナの生活様式の変化に対応した新たな利用方法の提案や新規顧客の開拓を行っていきます。

【今後の方向性区分】

- I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、II 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)
III あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、IV 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市